

令和6年7月31日

公益社団法人
富山県栄養士会
会長 甲村 亮二 様

富山短期大学
食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻
学科長・専攻科長 竹内 弘幸

令和6年度 公開特別講演会開催について（ご案内）

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

さて、このたび令和6年度公開特別講演会を開催する運びとなりましたので、ご案内致します。

講演会のチラシを同封させていただきましたので、富山県栄養士会会員の皆様にご案内いただけますと幸いです。ご多用とは存じますが、ご高配のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

富山短期大学 食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻 行
FAX 076-436-0133

申込日 月 日

富山短期大学 食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻
令和6年度 公開特別講演会
『これからの栄養学を考える』

申 込 書

貴社名・団体名等	
ふりがな ご氏名	
ご住所	〒
ご連絡先	電話番号 () - メールアドレス

メールでもお申し込みいただけます。
上記事項について、メールにてお知らせください。
メール送付先：**shokuei@tii.ac.jp**

申込締切：令和6年10月4日（金）

令和6年度 公開特別講演会

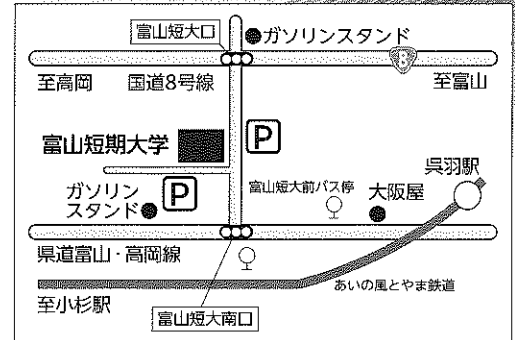
『これからの栄養学を考える』

参加
無料

日時 令和6年 10/6日 13:40~17:00

会場 富山短期大学 F館 2階

対象 一般の方、本学学生、保護者 約210名



講演 1

住み慣れた地域で最期まで暮らすために



講師/佐藤 伸彦 先生

医療法人社団ナラティブホーム理事長・ものがたり診療所 所長

現在の日本の置かれている社会問題を、まずは人口構造から考えてみようと思います。それは高齢化、少子化、人口減少社会という事に集約されるでしょう。次に、その問題に対して当法人がこの20年でやってきた事を、理念と実践とに分けて具体的に事例も含めてご報告いたします。特に漢字の「命」とひらがなの「いのち」についてお話しします。最後に、これからの10-20年の近未来の社会の問題点とその解決策はあるのか、皆さんと共有する事ができればと思います。

講演 2

在宅訪問栄養食事指導を通じた 人生の背景に寄り添う食支援



講師/矢治 早加 先生

在宅栄養専門管理栄養士 人々の安心感や幸せにつながる食支援を心がけ活動中

在宅療養されている方の自宅に訪問し、食事や栄養の支援を行っている管理栄養士の存在をご存知でしょうか。対象疾患として腎臓病・肝臓病・糖尿病・心臓病・高度肥満症・低栄養状態の方などが定められていますが、複数の疾患を併存した多病の方、また、認知機能や食べる機能が低下された方も多く、食環境や嗜好など様々な背景を考慮した食支援内容は多岐に渡ります。食べることはその方の歴史を作り、心を作ります。人生の背景に寄り添った食支援が求められている中、今回は在宅訪問栄養食事指導の取り組みを中心にお話させていただきます。